

事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 4月 22 日

事業所名 キッズ・レインボー

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	プログラムにより戸外も使用し工夫している	思いっきり身体活動ができるよう、月2回づつ市民プラザと小学校体育館で活動等を行っている
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%	常勤・非常勤の配置を工夫している	公認心理師や養護教諭、保育士など専門職を開所日に配置している
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	100%	0%	生活場面全体に構造化を図り、視覚支援を重視した環境づくりに配慮している	発達障がいの特徴を踏まえ、事業所全体の安全性に配慮し動線を工夫している。玄関の段差については、利用者が気をつけて生活する練習になるのでバリアフリー化はしない予定です。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%	0%	清潔な環境づくりの維持に努め活動の動線に配慮している	衛生管理に十分きをつけて活動する
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	毎日の朝礼と終礼後の打ち合わせで、業務改善を積み上げている	大きな課題等は職員会議で協議して実行に移し、支援プログラムは実態の変化に応じて絶えず改善するように努めている
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	毎年アンケートを実施し、面談などの機会に意向の把握に努めている	保護者や利用者の意見が聞ける様に配慮し、意向については、職員で協議し業務改善できるように努力している。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	評価結果を門真市手をつなぐ育成会のホームページで公開	保護者の意向をより広く反映できるよう工夫するとともに、支援の充実を図る。事業所の取り組みを公表していくよう努める
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	75%	20%	大阪府の研修や機関支援を受け、業務改善に活かしている	第三者評価の実施は、今後検討していく。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	大阪府、育成会などの研修に順次参加し、伝達講習に努めている	自主研修のため、DVD、YouTubeなども活用し、心理・福祉・教育の・基本の理解に努めている。今年度は『わかりやすい性教育』の研修も実施した
	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%	0%	行動観察、チェック表、面談などを通じて実態把握に努め支援計画に反映している	ご家庭から発達検査を受けられると検査結果をいただき、行動観察など行い計画作成し、発達検査受診の無い方には、行動観察と個別対応などから支援計画を作成している
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	86%	14%	標準化されたアセスメントツールは使用していないが、ご家庭から情報提供を受け行動の理解をしている	医療機関受診時の検査情報を可能な限り提供していただくようにしている
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	90%	10%	ガイドラインに沿って一人ひとりのニーズに応じ具体的な目標設定に努めている	利用者本人及びご家族の希望に可能な限り添える具体的支援目標の設定に努める

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
適切な支援の提供	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%	療育全体を通じて支援目標に沿った支援に努めている	強いこだわり等課題に応じて支援機関のアドバイスを求める
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	管理責任者が中心に立案し支援員の意見を交え作成している	利用者に応じた活動プログラムを絶えず意識して工夫に努めている
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	外出、調理、買い物、アロビ、おもちゃ図書館など多様な活動を実践	多様な社会経験ができるよう色々なプログラムの実践に努め、5領域を組み合わせたプログラムを工夫している
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	100%	0%	設定療育は集団活動を中心として、自由遊びは小集団で個別的な対応をしながら柔軟に計画作成している	発達段階等も考慮し、個別や小集団での活動も重視している
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	毎日朝礼でその日の支援内容と役割分担、送迎配車など文書を介して確認している	安全安心をモットーに利用者、職員体制、支援内容など、管理者を中心に漏れがない体制づくりに努めている
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	100%	0%	終礼時に一日を振り返り業務日誌に反映し、改善への手がかりとしている	自由に話せる職場の雰囲気づくりに配慮するとともに、振り返りシートに支援終了後記入してもらい、支援の向上を図っている
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	サービス提供記録票を個別カルテに集積し、支援の改善につなげている	業務日誌に指摘された事項はフリーキングで課題を明確にして検証し改善の手立てとしている
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	定期的実施し、必要性に応じ柔軟に対応している	成長発達の状況や家庭環境等の変化に対応して柔軟に対応するため、関係機関との連携を一層深め計画の見直し、更新を行っている
関係機関や保護者との連携関係機	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	最も適した職員が参画し、他の事業所の担当者との情報交換で連携強化を図っている	門真市ではサービス担当者会議が殆どないので、学校、家庭などとの統一支援ができていないのか疑問である。相談支援事業所に、サービス担当者会議の実施を求めている
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	100%	0%	子育て経験豊かな親の会が運営する事業所であり、関係機関と連携してペアレント・メンター活動の手法を使っている	関係機関が気軽に情報提供し、連携が深まることを心がけている
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている			該当者はありません	該当者はありません
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている			該当者はありません	該当者はありません
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	0%	こども園等との支援内容方法の情報共有と連携を図るよう努めている	関係するこども園や支援学校の数が多くなり情報共有と連携時間の確保が難しくなり、送迎時に情報交換を必ず行うようしている
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	100%	0%	該当児童の保護者が求めることで情報共有を図っている	必要に応じて相互理解を図ります

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
機関や保護者との連携	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	100%	0%	専門機関との連携を密にし、積極的に研修に参加している	児童発達連絡会議に参加し連携をしている
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	100%	0%	障がいのない児童等との交流活動を年1回実施	交流と活動の機会を模索している
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	100%	0%	理事長が市の各種協議会等に参画し、意見反映と情報収集の機会となっている	大阪府の手をつなぐ育成会役員として、府全体の動向や情報を得ると共に、門真市の協議会には参画しています。行政主導の障がい理解啓発の取り組みが少ないことが課題である
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	連絡帳やLINEを活用し情報共有を図っている	利用者のより良い発達を目指して保護者支援を実施している。当事業所は当時者団体が運営している強みがあり、ペアレントメンター活動に取り組んでいる
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	100%	0%	保護者の悩みや困りごとについていつでも相談対応している	「門真市手をつなぐ育成会」役員を中心に保護者支援(ペアレントメンター活動)を行い、必要に応じて関係機関の研修の情報提供もしている
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	契約時に詳しく説明すると共に、状況の変化に応じて説明を行っている	現行の規定の中で、改定を要する内容があれば、その都度説明を丁寧に行っている
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%	0%	支援計画の各項目とそのねらいを説明し、意見交換をして、いつでも変更できることを説明している	定期的にモニタリング面談を実施し、ご家庭との統一支援ができるよう情報共有に努めている
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	相談経験者や療育経験者が公認心理師と協力して支援を行っている	大阪府及び全国組織と連携した親の会などの情報を得ながら、助言や相談などの支援をさらに充実している
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	100%	0%	コロナ渦で開催できていなかった「保護者のつどい」を実施し、保護者同士の交流を支援していく予定	保護者同士の連携が図れる機会として親子プログラムなど計画している。先輩の親との交流も図れるよう、「門真市手をつなぐ育成会」の行事の案内をしている
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	いつでも対応できる体制を取り、相談などがあれば迅速に対応している	相談内容により、専門性の高い職員が対応できるように努めている
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	毎月の月予定を配布し、ホームページには会報や活動の様子を掲載している。	保護者の意見や感想をできる限り聞き取る工夫が必要
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	100%	0%	大阪府個人情報保護条例や当法人の規定にしたがって十分注意している	定期的に保護条例、職員行動指針を再確認し、注意を喚起をしている
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	多様な手段で各ご家庭とコミュニケーションを深めることに努めている	事業所全体で場面・教具等の視覚支援と構造化を図っている

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	88%	13%	地域の行事に積極的に参加したいと思っている	法人本部と連携し、地域住民とも連携を図り、ボランティア体験の受け入れや、近隣大学から実習生の受け入れを行っている
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	86%	14%	防災・防犯、発作、誤嚥、緊急蘇生法等のマニュアルを策定している	定期的の確認・見直しを行っているが、避難訓練は形式的で実体験的な訓練ができていないのが課題である
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	避難場所への避難訓練、防犯と交通ルール研修、防災訓練を年間計画の中で実施	絶えず危機管理の原則を忘れないように留意し今後も市の「防災対策マニュアル」に則り、指定された避難場所への避難訓練などを定期的の実施し、利用者への理解も深めるように説明をしている
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	100%	0%	初回面談時に聞き取り個人表に記載し投薬の変更は処方箋のコピーをいただいている	決して事故を起こさないように、健康安全面に最大の配慮を心がけています
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	現状では該当者はありません	アレルギー対応の必要かどうかを丁寧に聞き取り、該当者が出了場合は必要に応じて、医師の指示書とマニュアルに従って対応します
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	事例検討会を行い事業所内で共有している	未然防止に最大の注意をはらい、事例を文書化して記録に残し、安心・安全な環境整備に最大限の配慮をしている
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	府や育成会の研修と伝達講習で、権利擁護意識の向上を図り、虐待防止委員から職員の意識向上を図っている	人権及び権利擁護に関する意識の向上と、虐待委員より職員の意識向上を図り、研修を実施を継続すること
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	100%	0%	身体拘束は行わないことを徹底している(送迎車内のシートベルト装着は定着)	どうしても必要な利用者との契約になった時には、保護者の意向に寄り添い支援計画に記載していきま	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。